

## 2 中学部

### (1) 学部教育目標

一人一人のよさや個性を伸ばし、将来に必要な力を育てる。

#### 【めざす生徒像】

- ・自分の良さや個性を知り、自ら行動する生徒
- ・学ぶことを楽しみ、自分で考える生徒
- ・相手を思いやり協力し合う生徒
- ・自分の身体を大切にし、健康で安全に生活できる生徒

### (2) 指導の重点

各教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科の目標をおさえた上で指導内容等を精選するとともに、指導と評価の一体化を図りながら、基礎・基本的な知識・技能の確実な定着を図る。</li> <li>・保護者や関係機関と連携を図りながら、一人一人のよさや可能性をふまえた指導や課題を設定して行う。</li> <li>・生徒の実態に応じた学習集団を編成し、個別、集団指導を適切に行う。</li> </ul>
道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団（社会）の中の一員として必要な自覚を育てる。</li> <li>・生徒の実態に応じて、未来への夢や目標を持ち、自己の生き方について考える気持ちを育てる。</li> <li>・道徳教育全体計画に基づき、各教科、総合的な学習の時間、特別活動及び自立活動等と関連しながら経験の拡充を図り、全教育活動の中で指導する。</li> </ul>
総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験的学習を通して、必要な情報を収集・選択し、自分で工夫したり、見通しを持って活動する力を育てる。</li> <li>・自ら課題を見つけたり、気付いたりして取り組む力を育てる。</li> <li>・交流及びグループ学習を通し、集団や社会の一員としての意識を育てる。</li> </ul>
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自の役割を認識させ、責任感と行動力を育てる。</li> <li>・各種行事や学級活動、生徒会活動などを通して、個性を伸ばし、望ましい人間関係を育てる。</li> </ul>
自立活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達段階に応じて身体の状態の維持・改善や自分の気持ちや情緒を安定させるとともに、障害による学習上または生活上の困難を改善・克服する意欲の向上を図る。</li> <li>・自他の理解を深め、対人関係を円滑にし、集団参加の基盤を培う。また、感覚を有効に活用し、周囲の状況を把握したり、環境と自己との関係を理解したりして行動できるようにする。</li> <li>・日常生活や作業に必要な基本動作を習得し、適切な身体の動きができるようにする。また、場や相手に応じて、コミュニケーションを行うことができるようにする。</li> </ul>

### (3) 学部運営の重点

- ア 個別の指導計画に基づき、一人一人の実態と教育的ニーズを把握し、楽しく安心して学べる学習環境で将来に必要な力となる基礎・基本的な知識・技能・態度の向上を図る。
- イ 様々な集団活動や体験的学習を通して、人間関係や公共心の理解を深め、自他の命と体を大切にする心情を育てる。

### (4) 学部運営の方針

- ア 学部目標の共通理解を図るとともに、学部（学級）・個人目標の関連性を意識した教育計画と指導に努める。
- イ 個別の指導計画について全体で共通理解し、授業作りに生かすよう取り組む。
- ウ 適切な学習集団と指導体制をもとに、より「個に応じた指導」を目指す。
- エ 健康で安全な教育活動のために、医療的配慮・医療的ケアを必要とする生徒の衛生管理体制や緊急時の対応を始め、給食・安全指導、学習環境の整備や確保に努める。
- オ キャリア教育の全体計画や中学部進路指導計画を基に進路学習や進路支援の推進を図る。
- カ 生徒同士の触れ合いを大切にした交流及びグループ学習を推進する。
- キ 望ましい人間関係を基礎に、より良い適応と成長を目指し、豊かな集団生活が営まれるよう生徒指導の充実に努める。
- ク 学部、寄宿舎、家庭、地域、関係機関との連携を深め、指導の一貫性に努める。
- ケ 進路支援について、学部内の共通理解と保護者への理解、啓発に努める。
- コ ICT 機器等を有効活用し、指導の効果を高める。